

「瀬戸内・松山」構想



瀬戸内海は日本初の国立公園であり、「シルクロード」の命名者であるリヒトホーフエンや、近代ツーリズムの祖として知られるトーマスクックなどが絶賛した場所です。特に、広島と松山・愛媛を結ぶエリアは「多島美」に代表される島々が織りなす魅力が集まり、風光

明媚な風景、歴史、文化、産業など、多様な資源の宝庫です。松山市では、この瀬戸内海にスポットをあて、広島地域と松山・愛媛の資源を組み合わせ、新しいスタイルの旅行の定着を目指す「瀬戸内・松山」構想を戦略として掲げています。その中でも近年注目を集めたのが、瀬戸内・松山だからこそできる修学旅行です。広島地域や松山市・周辺自治体と連携することでさまざまな体験学習が行えます。コロナ禍では、マイクロツーリズムなどの市場ニーズを捉えた助成金制度の創設や、修学旅行受け入れサポートなどの「おもてなし」が評価されました。その結果、年間約60校ほどだった修学旅行は、令和2年度は140校、令和3年度はそれをさらに超える数の学校を受け入れました。おもてなし日本一を目指す松山市として、国内、また外国人観光客の方にも十分満足いただけるよう、瀬戸内海や松山・道後の魅力をさらに高めていきます。



市内中心部には松山の歴史と文化に出会える観光名所が点在しています

万葉の昔から 文人が集う伊予の湯 道後温泉

約3,000年の歴史を誇り、日本最古の温泉といわれる道後温泉。古来より名湯として知られ、聖徳太子や夏目漱石などの文人墨客も数多く訪れました。全国的にも珍しい無加温・無加水の「源泉かけ流し」を実現しています。

DATA

所在地／松山市道後湯之町5-6 電話／089-921-5141

開館時間／6時～23時(札止め時間は22時30分)

年中無休(12月に1回臨時休館あり)

入浴料／大人:12歳以上、小人:2歳～12歳未満

壺の湯 大人420円、小人160円

又新殿観覧時間／9時～17時(毎時00分、30分)※事前予約制

又新殿観覧料／大人270円、小人130円

◆道後温泉本館

明治27(1894)年に建てられた浴場。国の重要文化財です。



※保存修理工事前に撮影



◆放生園の足湯

昭和の初めまで道後温泉本館で使用されていた湯釜を利用した足湯です。多くの人がベンチに腰掛けて足を浸しています。道後温泉駅やカラクリ時計を眺めながら、のんびりとくつろげるスポット。女性の方にストッキングを脱いで足湯を楽しんでいただくための「身嗜所」(無料)もあります。(道後温泉駅前)



◆又新殿(ゆうしんでん)

道後温泉本館に明治32(1899)年に完成した日本で唯一の皇室専用浴室。各所に金箔や銀箔が使用されるなど豪華絢爛な様となっています。

1階の浴槽には最高級の庵治石が使われ、湯釜には大国主命、小彦名命が彫刻されています。

